

第15号

酪農

とちぎ



那須だいき牛乳

「那須だいき牛乳」
新発売

組合では、積極的な市乳
拡販をめざし、六月二十五
日より「那須だいき牛乳」
を新発売いたしました。

使用原乳は、那須地方か
ら生産された新鮮・安全・
安心な良質乳を厳選し、製
造法も最新技術、ESL法
(品質保持期限の延長)に
より、衛生的かつ品質保持
期限も二週間に延びます。

パッケージは、白地に那
須を代表するりんどうをイ
ラストし、商品名は筆文字
により、品位性と親しみ感
に富み、店頭でも注目され
るものと信じています。

皆様からのPR・拡販に
ご協力をお願い申し上げます。



第二回通常総代会を開催

県北CS建設を具体化・資本造成始まる！

酪農とちぎ第二回総代会を六月二十七日、高根沢町民ホールに総代百八十五名が出席して開催致しました。

当日は、定刻午前十一時に定数を満たし、菊池副組合長が開会



議長団の高橋裕忠氏(右)伊藤英男氏(左)

を宣し、前田組合長は挨拶の中で

酪農情勢及び県北CS・県南支所の建設予定等を含め、合併二年度の経過、三年度の事業方針について報告いたしました。

続いて、橋本俊一県農務部長代理より祝辞を頂きました。

議長団には高橋裕忠氏(真岡市)伊藤英男氏(塩原町)が選任され、第一号から第四号議案まで慎重に審議し、全議案とも原案通り可決決定されました。

特に、第一号議案では、今回の配当金から資本造成を行うことになっており、今後の造成見通しなどの質疑がありました。また、第二号議案では、県北CS及び県南支所の建設計画についての質疑にも、詳細に説明すると共に尚一層

業務の合理化を進める事を報告し、相馬副組合長が閉会を宣し終了しました。

当日の出席状況

定数百九十名、本人出席百五十五名、書面議決三十名

主な質疑、意見要望事項

教育情報資金について
繰越剰余金について
出資配当金の基準について
資本造成の進め方について
出資金の格差について



組合長の挨拶

出資目標額の基準について
市乳事業の強化について
県北CS及び、県南支所の建設について

家畜排泄法の対応について
乳質保全規程について
需要期増産奨励制度について
ふれあい牧場事業について
総会制について

また、当日は乳質共励会表彰及びサイレージ共励会表彰が行われ、日頃の努力を讃えました。



貴重なご意見、ご要望が出されました



平成14年度サイレージ共励会表彰者受付簿
牧草サイレージの部

表彰区分	所属支所名	コード	農家名
最優秀賞	宇都宮支所	20019	植木 茂
優秀賞	宇都宮支所	13011	斎藤 修
優良賞	栃木県南支所	30005	古谷 康典
		30003	小林 隆志
努力賞	那須高原支所	2117	大田原孝雄
	那須高原支所	2151	相馬 健一
	栃木県南支所	27023	町井 覚
	那須高原支所	07031	松村 吉晃
	宇都宮支所	11035	森林 実
	栃木県南支所	41003	大阿久 要
計			10名

トウモロコシサイレージの部

表彰区分	所属支所名	コード	農家名
最優秀賞	宇都宮支所	16005	滝沢 悦郎
	那須高原支所	01033	小松 良吉
	栃木県南支所	36001	前原 恒
優秀賞	宇都宮支所	10009	平野 勝弘
優良賞	宇都宮支所	16013	阿久津 智
		28029	町井 幸衛
	栃木県南支所	28023	大森 隆志
	那須高原支所	02361	渡辺 久男
	宇都宮支所	16039	箕輪 長二
努力賞	栃木県南支所	28021	川又 隆夫
	栃木県南支所	30021	黒崎 乳業
	宇都宮支所	10039	佐藤 充則
	栃木県南支所	28005	大木 昭文
	宇都宮支所	16007	村上 昭夫
		11023	高瀬 賢治
	栃木県南支所	27017	河原 律子
		28011	梶村 健介
宇都宮支所	16003	岡本 秀治	
計			18名

平成14年度乳質共励会表彰者名簿

表彰区分	所属支所及びブロック	コード	農家名	備考		
優秀賞 12名	那須高原支所	高林支部	02101	菊地 清一	知事賞	
		青木支部	02291	小針 秀夫	知事賞	
		青木支部	02225	佐藤 栄昭	農務部長賞	
		塩原支部	03021	小林 陽子	農務部長賞	
		中部支部	01115	林 武信		
		中部支部	01127	小泉 源次		
		高林支部	02089	渡辺仁太郎		
		高久支部	01197	人見 政朝		
		くろいそ支部	02301	伊藤 昭一		
		塩原支部	03017	仙波 信男		
		宇都宮支所	那須南支部	10025	小田戸幸道	
		栃木県南支所	真岡市支部	31003	石川 市郎	
優良賞 21名	那須高原支所	高林支部	02145	池田 一夫		
		青木支部	02263	川井 一美		
	宇都宮支所	那須南支部	10007	平野 恒夫		
	那須高原支所	青木支部	02245	大田原 浩		
		青木支部	02251	井上 徹男		
	宇都宮支所	宇河今市支部	26011	大柿 彰吾		
	那須高原支所	高久支部	01169	穴戸 英樹		
		中部支部	01259	西森 正一		
	宇都宮支所	那須南支部	11001	松井 実		
		那須南支部	11017	須藤 建次		
		塩谷矢板支部	13019	荻野 和夫		
	那須高原支所	穴沢支部	02035	木村 英夫		
		くろいそ支部	02305	前田 宏幸		
		くろいそ支部	02327	松本 伸一		
		くろいそ支部	02339	加藤 拓央		
		くろいそ支部	02343	高久 武男		
		高林支部	02169	人見 修由		
		塩原支部	03033	木村 肇		
		大田原支部	05019	松本 和徳		
	宇都宮支所	塩谷高根沢支部	16047	仲山 茂		
	栃木県南支所	二宮町支部	32005	松山 秀夫		
計			33名			



トウモロコシサイレージ共励会表彰



乳質共励会知事賞



乳質共励会優秀賞表彰



牧草サイレージ共励会表彰



乳質共励会優良賞表彰



ニュージーランド

酪農乳業行政視察団 本組合・栃木明治を視察さる

わが国とニュージーランドの酪

農乳業行政担当者による酪農品需給情報交換会議が、六月十六・十七日の二日間、家畜改良センターで行われました。ニュージーランドの国内情勢として、平成十四～十五年シーズンの農家手取り乳価が国際市場の悪化、為替の影響で前年比三十三％減などの報告がなされました。また、日本に対して、酪肉近代化基本計画の進捗状況、脱粉対策等の質問が出されました。



二日目の十七日、本組合及び栃木明治牛乳を見学されました。栃木明治牛乳の永井社長がプロジェクトによる工場紹介の後に、ニュージーランド

側から質疑が出され、通訳の方が戸惑うほど活発に意見交換がなされました。その後、工場視察が行われ、興味深げに製造ラインを視察していました。また、酪農とちぎ検査室にて、導入したばかりの検査機器(コンビフォス)を見学されました。

酪農品需給情報交換会議には、日本側から農水省の荒川隆牛乳乳製品課長、同石橋朋子課長補佐、同天野絵里係長、農畜産業振興事業団から、渡辺紀之理事、塚田幸雄酪農部長、野村俊夫酪農部製品課長らが出席し、ニュージーランド側からは、農林省のアラン・カー国際政策部長、レベッカ・ベレント政策分析官、ニュージーランド大使館からミッシェル・スレイド公使、マリア・ポーシェフスキ一等書記官、藤林慶子経済担当調査官らが出席しました。



乳質検査システムの説明



酪農とちぎでの意見交換会



栃木明治牛乳の視察

支所別説明会 五箇所で開催

六月上旬より、各支所毎に支所別説明会を開催致しました。

酪農とちぎは、総代会制になつ



ておりますので、全組合員に十四年度事業実績及び平成十五年事業計画についてご報告し、皆さんからのご要望、ご意見を頂くこととし、初年度より開催しております。今年度の支所別説明は六月九日～十七日の五会場で行われ、積極的なご意見、ご要望を頂きました。

主なご意見ご要望等

那須高原支所

平成十五年増産対策について
ふれあい牧場の運営について
規格外及び不合格乳の乳代について
外国人研修生受入れについて
補助事業の取組みについて
乳質検査について
職員の給与について

宇都宮支所

乳質保全規程について
平成十五年年度需要期奨励制度について
外国人研修生受入れについて
県北CSの進捗状況について

県南支所

平成十四年事業実績について
剰余金処分案について
増資計画について
乳質保全規程について



東西南北

那須高原支所

女性会黒磯支部視察研修会開催

さる六月二十五日、女性会黒磯支部視察研修を行いました。

視察先の赤城村に着いた時は生憎の天候でしたが、皆様の行いがよい為か、ぐんまフラワーパーク」では雨もあがり、綺麗に整備された庭園を散策した後、次の視察先「吉野牧場」へ向かいました。吉野牧場は、赤城高原の中心地であり、牛舎を増設しながら規模拡大して来た牧場です。快適な環境で見渡しが良く、事務所の中で牧場内を一望できる様に工夫されました。牧場内を息子さんの案内で見学を行い、会員の皆さんより活発な質問が出されましたが、快く説明を頂きました。

「吉野牧場」の経営概況は、成乳頭数が五百頭、子牛・育成牛が三百頭、搾乳が一日に三回、従業員

員が二十歳前半と若手ばかりで、活気が溢れていました。また、獣医師を一名雇い入れ、牛の健康管理も徹底し素晴らしい牧場でした。吉野牧場の畜舎環境及び経営内容は、今後規模拡大を行う上で非常に参考になりました。

宇都宮支所

「後継牛の育成と環境作りをモットーに！」

烏山のS牧場は、公共事業を受け、四月に移転し、規模拡大をしました。ミルクングパーラー・フリーストール牛舎一棟、糞尿処理施設二棟の施設で、成牛百頭、育成牛四十頭を目標に現在乳牛を増やしています。このような施設に手作りのカーフハッチがあり（写真、）、哺乳牛のコンフォート



に気遣い、また管理のし易さを図っています。外見にも遊び心と言うか訪問者に目を引くようなユニークなオブジェ写真



（）などもあり牧場としてのカラー作りも大切にしています。これらは、Sさん夫婦が酪農ヘルパーのOさんと話しをしながらOさんが製作したもので、使い勝手が良く、見た目も良いと喜んでいきます。

Sさんは「規模拡大を図り、これからが大変。将来に向け働いてくれる育成を大切に育てていきたい。持つ能力を十二分に発揮してもらうためにも環境作りを大切にしたい。」との希望に満ちた言でありました。

栃木県南支所

冲酪農協

創立五十周年記念牛魂祭及び式典

六月二日晴天の中、藤田二宮町長、前田組合長はじめ関係者来賓列席のもと、農事法人・二宮町冲酪農協同組合創立五十周年記念牛

魂祭及び式典が冲農村公園で盛大に挙行されました。

二宮町沖は、県南の東南端の県境に接し、現在約八十戸の農家が水田・畑作百四十町歩を有する、米麦を中心とした水田地帯です。

冲酪農協同組合は、昭和二十八年北海道より十一頭を導入して結成され、現在の組合員数十二名、飼養頭数五百八頭、出荷乳量二千七百二七となっておりです。

創立当初から互助会を設立し、「落伍者を出すな」をモットーに、皆で成功しなければならぬという精神は今でも堅く守られています。雌仔牛が生まれるとその家に集まって集まり厩祭を行い、祝いの酒を酌み交わし、皆で喜び合いました。その後、乳牛導入、機械の共同導入、一方では育成に力を注ぎ共進会を発足させ、乳と蜜の満つる里」を目指して今日まで冲酪農は発展してきました。

現在は八代目組合長松山秀夫さんを中心に、協同の精神のもと、規模拡大、新たな前進を目指して活躍しています。



部課だより

生乳販売部

全国の生乳生産量の伸び率鈍化傾向に！

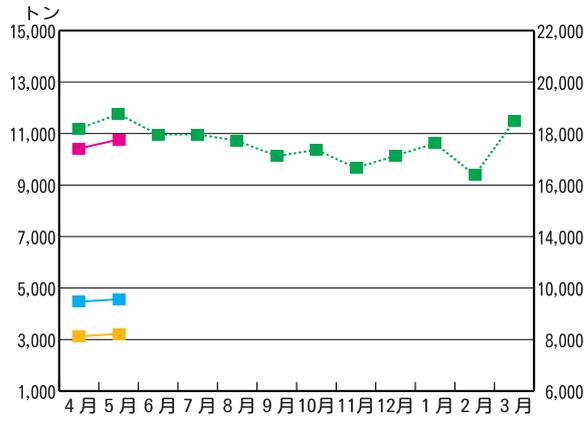
五月度の北海道生乳生産量は、前年比一〇・一％と、五％台の伸びを示した昨年の反動により、伸び率は減少しました。一方、都府県については前年比九・三％でありまして、これはアウト・イン移動分によるものです。全国比では一〇・一％となっているものの、実質的には減少幅が拡大しているものと見られます。関東生乳販連においても前年比九・七％と、相変わらず前年を大幅に落ち込んでいます。

販売実績においては、そのような生産の状況下、醗酵乳向けは需要の一巡から伸びが鈍化したものの、飲用牛乳向けの伸びにより飲用等向けは前年比一〇・二・一％（関東では九八・五％と生産減により前年割れ）と前年を上回っています。加工向けについては七％（前年比八八・四％）と前月に引き続き減少しており、相変わらず需給は堅調な状況が

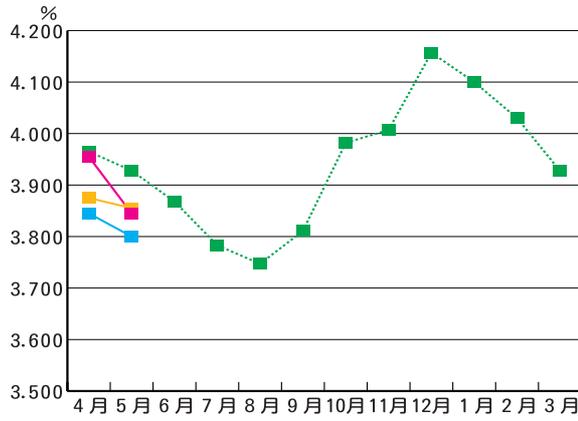
続いております。

そのような中、五月の組合の生産量は、前年比九八・八％と前月に引き続き下回っております。支所別

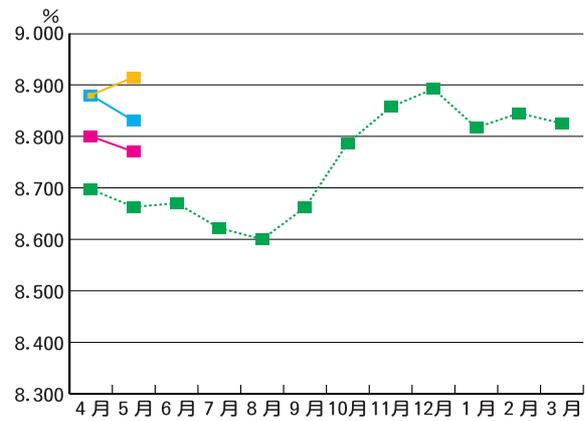
乳量の推移



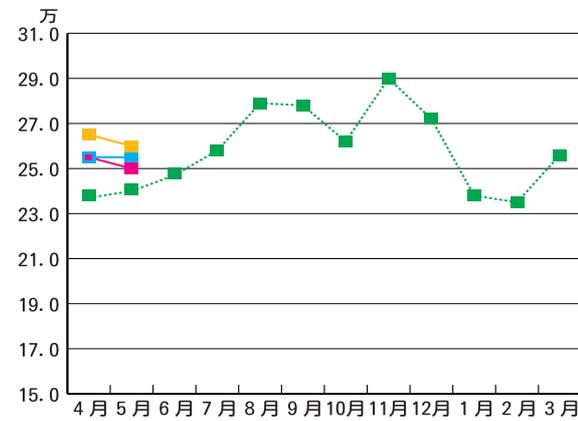
脂肪率の推移



無脂乳固形分率の推移



体細胞数の推移



で見ますと、県南支所は一〇〇・四％と前月に引き続き堅調だったものの、那須高原支所は九八・三％、宇都宮支所は九八・二％の実績と、回

復傾向が見られず前年を下回りました。これから一年でもっとも需要が多い時期となることから、早期の生産回復を期待するところです。

乳質において、無脂固形分率が前月に引き続き前年を〇・一六五％（平均で八・八三％）上回りましたが、脂肪率（三・八四％）は逆に、若干ではあります、〇・〇七％下回り、細胞数は一・〇一増加しました。細菌数等の事故防止に対しては、組合員の皆様方は日々ご努力しているところとは思いますが、残念ながらバルククーラーの整備不備、スィッチの入れ忘れ等による細菌数事故が発生しております。組合員の皆様方には、なお一層のご注意をお願いいたします。

梅雨本番となり、湿度が高く蒸し暑い日が続いており、乳質の低下が懸念されますので、乳牛の飼養管理に努め乳成分及び衛生的乳質の更なる改善にご努力をお願い致します。五月の乳量及び乳質成績は上記のとおりです。

市乳販売部

この度市乳販売部では、東京明販株式会社と共同で開発した「那須だいき牛乳」を発売致しました。この商品



の販売にあたり、生産現場より製造についての知識修得の為、四月二十一日から二十二日にかけて、東京明販(株)の営業担当者五十名による研修会を行いました。

一日目は、酪農とちぎ那須工場を見学し、栃木明治永井社長並びに待園工場長より内容の濃い講義と指導を頂きました。翌日、今牧場(那須町)、小野牧場(黒羽町)、渡辺牧場(塩原町)の三カ所の牧場をめぐり、搾乳から工場出荷までの一連の流れを、それぞれの牧場や移動のバス車中で質疑応答を行いながら研修しました。本組合の牛乳は、新鮮で良質、まごころを込めて出荷されているもので、しかも一頭一頭の飼養管理、衛生管理がいかに徹底されているかという事を、今回の研修で学んで頂きました。今後は研修会で学んだ事を



今 牧 場 (那須町)

セールス
トークに
活かし、
当組合の
市乳販売
事業に貢
献して頂
けるもの
と期待し
ています。

酪 農 部

青年部本部総会開催

六月二日、ふれあい牧場に於いて、酪農とちぎ青年部第二回通常総会(代議員)が開催され、執行部より提出された全議案は原案通り承認されました。

平成十五年度事業として、親善球技大会(ソフトボール・ボーリング)の実施、関係団体行事への参加が予定されています。

新規事業として、酪農とちぎの将来を担う部員達の、知識と技術を向上させ、青年部の共通テーマとなるよう、E T研究会の設立に向けて検討します。

また、全共栃木県大会へ向けて研鑽を積む為、全道共進会視察を実施します。



後継者
対策とし
て「出会
い・ふれ
愛パー
ティー
(仮称)」
の実施を
計画して
います。

青年部では、若き担い手が、酪農に対して夢や希望が持てるよう事業展開します。

女性会本部総会開催

六月十三日、高根沢町元気あつぷむらに於いて、酪農とちぎ女性会第二回通常総会が開催されました。

今会長は、会員が一堂に会して交流を深める為に全体研修会を行うこと、女性会会員として一体感を高める為に「環境美化に努める」「家族経営協定締結に向け努力する」を統一テーマとして掲げること等、協力を得ながら取り組み、今年一年を希望を持って過ごせる様にして行きたいと挨拶を述べました。

議長には那須支部の中島三咲子氏が選任され、総会資料を基に議事が進められました。全議案とも原案通り可決されました。



総会終
了後、懇
親会が開
かれ、楽
しいひと
時を過ご
し、親睦
が深めら
れました。

6月ホクレン初妊牛市場成績

(単位:頭,千円(税込))

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~400	401~450	451~500	501~550	551~600	601以上
鉏路	6月4日	116	448		3	17	36	37	23
根室	6月5日	249	461	3	5	18	72	94	57
豊富	6月6日	211	458	1		24	57	89	40
十勝	6月11日	368	483	4	11	19	73	106	155
北見	6月12日	239	453	3	4	28	78	91	35
合計		1,183	458	11	23	106	316	417	310
前月		1,425	462	-	-	198	373	482	372
前年同月		1,339	421	24	102	290	550	295	78

家畜市場成績

平成15年6月

(単位:円(税込))

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野 十五日	ホルス雄	88	-	72,450	6,300	52,913
	F1雄	75	-	175,850	19,950	136,906
	F1雌	71	-	121,800	40,950	79,164
館林 十七日	ホルス雄	3	68	57,000	52,000	54,333
	F1雄	5	70	178,000	150,000	164,600
	F1雌	6	68	121,000	89,000	101,500



六月度理事会

報告事項

- (一) 組合員加入について
 - (二) 資金貸付について
 - (三) 支所別地域説明会結果報告について
 - (四) 六月分生産者支払暫定乳価について
 - (五) 関連会社（栃木明治牛乳株式会社）の業務報告について
- 協議事項
- (一) 五月度事業実績について

春夏秋冬



組合では、主力商品として「**那須だいき牛乳**」を六月二十五日関東地域でいっせいに新発売いたしました。まだ発売して日が浅いのですが、各店舗とも今のところ順調に販売されている様子です。牛乳パックは、白を基調にしたスッキリとした色あいのデザインで、商品名の一部の「だいき」を大きくアピールし、品のいい顔でスーパ一の陳列棚に並んでいます。「**酪農牛乳**」「**南那須牛乳**」とも

- (二) 粗飼料供給量別利用奨励措置について
- (三) 那須高原クーラーステーション（仮称）設置計画について
- (四) 栃木県畜産協会の役員候補者選任について
- (五) 職員採用について

お知らせ

祝結婚

黒磯市の石島栄志さんが六月十日に新婦君江さんを迎えられ結婚されました。末永くお幸せに。那須町の遠藤拓志さん（清志氏

ども消費者に愛飲されるよう担当者一同頑張っております。

組合員の皆様からも、首都圏に住む知人等にお話して下さるようお願いいたします。県内の販売店では、ダイユー・池上ストア・Yショップ・石川ストア・塩原屋・高根沢農協・ヤナセストア・福田屋・ダイマル等で販売しております、関東全域で今のところ八百店を越えるスーパー・量販店等で販売しております。

組合員の皆さんが日々乳質向上に努力され、他のどの牛乳にも負けない新鮮でおいしい牛乳ということを強調して宣伝していただ

の長男）が六月二十一日に新婦詩子さんを迎えられ結婚されました。末永くお幸せに。

黒磯市の人見高志さん（一男氏の長男）が六月二十一日に新婦洋美さんを迎えられ結婚されました。末永くお幸せに。

塩原町の和田泰さん（優氏の長男）が六月二十二日に新婦美保さんを迎えられ結婚されました。末永くお幸せに。

全共栃木大会
十七年十一月二六日に決定
さる、七月七日に第二回栃木県

ればと思います。

ひとつお断りしておきます。この「那須だいき牛乳」は安売りをしません。もし値段が高いという批判がありましたら（那須の新鮮な良質乳を使用し、近代的な製法（ESL）で製造しているため風味が持続され、品質保持期間も二週間であることなど説明し、理解していただくようお願いいたします。安売り牛乳を少なくすることは牛乳の価値を高め、延いては酪農家の努力が報われることにもつながります。「那須だいき牛乳」の成功のためご協力お願いします。

(W)

実行委員会が開かれ、栃木大会は平成十七年十一月三日～六日までの四日間（六十万人の来場見込）、壬生町羽生田の県有地で開催する事が決定されました。

大会テーマを「ミルクの国 宣言！」（サブタイトル「とちぎファームフェスタ 2005」）とし、全国第二位の生乳生産県をアピールし、乳用牛改良と酪農振興のほか、消費者とのふれあい・交流、「やすらぎの栃木路」のPRを図ることを目的に開催されます。詳細は今後検討されますが、決定次第順次お知らせ致します。

牛乳・乳製品利用料理コンクール栃木県大会の開催

高校生及び消費者を対象として牛乳・乳製品を利用したアイデアある料理のレシピを募集しております。コンクールを通じて日常生活の中に牛乳・乳製品利用を定着化することを目的としています。

主催 栃木県牛乳普及協会
応募締切 八月三十一日
選考 書類選考を行い、十名を選出し実演後審査を行います。

表彰 最優秀・優秀・優良賞及び参加賞

詳しくは、栃木県牛乳普及協会
〇二八 六六四 三六一一又は、各支所にお問い合わせ下さい。

